

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2021年度第5回データベース委員会 議事録

日時:2021年10月27日(水) 20:00~21:00

場所:オンライン会議(Zoom)

出席 (敬称略): 筑田(担当理事)、金村(委員長)、岩崎、石井、山田、海渡、伊藤、上田、今釜、町野(今釜代理)、渡邊、有馬、藤田(アドバイザー)、高橋(ファスト)、種市 (アドバイザー)、波呂(アドバイザー)、渡辺(アドバイザー)、松山(アドバイザー)、新村 (JSSR-DB事務局)

欠席 (敬称略): 大鳥、細金、吉井

報告事項

1. 理事会報告 筑田(担当理事)

理事会にて来年度2022.4月から恒常的に運用することが決定された。

データベース登録率向上に関して、指導医を新規申請・更新するためにデータベースに登録された症例を採用することが決定された。

2. 前回議事録の確認 資料1

3. JSSR-DB 2021 進捗状況 資料2,3

1) システム構築進捗

2) ステージング環境の確認

審議事項

1. 再手術・追加手術の定義

・目的とした手術対象あるいはそれに関連した事象に対して、初回手術の手術室退室以降に手術室で行う2回目以降の手術を再手術・追加手術の定義とする

- ・再手術・追加手術の理由として骨癒合不全、固定隣接椎間障害の定義を確認した

2. 側弯・後側弯・後弯の分類

- ・2階の病名は治療目的により選択をしてもらう。
- ・中分類に後側弯症を入れた。
- ・側弯症は角度定義しないこととし、治療目的が変形矯正である場合とした。
- ・変性側弯症があっても治療目的が除圧の場合は腰部脊柱管狭窄症などの病名とする。
- ・成人期遺残型特発性側弯症を追加しないことになった

3. 紙調査票の内容

- ・入力用フォームについて確認した。
- ・JSSRホームページに現在暫定版を掲載中。
- ・今後も改変し11/1にまで掲載予定。

4. JSSR-DB ホームページ

- ・ホームページ内容について確認。
- ・参加手続きでJOANARには参加していない施設での登録で整形外科が常勤でない施設では、施設長等に日整会に入ってもらい登録する。これを参加手続きの3.3として追記する。

7. データクレンジング

- ・データクレンジングが終わり、データが固定し解析できるようになるまでどのくらい期間がかかるか？（筑田理事）
- ・JSSR-DBは2022年1月31日にデータ登録終了を考えているが、その後のクレンジング、フィードバックにどのくらい期間がかかるかは現時点では未知数である。（金村委員長）
- ・データクレンジングの作業量によっては、人員を増やすかどうか検討が必要。データがフィックスしてから、解析しないとそのデータ自体に意味をな

さなくなるため、クレンジング、フィードバック、テータフィックスのプロセスが重要である。（種市アドバイザー）

8. 検討課題

- ・通年で行うことに関して。11/10のJSSR-DB委員会で審議する予定。
- ・指導医資格との紐付け
- ・JSIS-DBとの2F連携
- ・脊椎内視鏡委員会との連携

9. 新技術レジストリ

頰椎人工椎間板は2022/4よりJSSR-DB2Fに含み開始する。

OLIF51、XLIF-ACRは審議中

10. その他

- ・現在、実務的には事務局事務員1名、医師2名体制で行っているが、業務量がかなり多く、11月から登録開始、その後のデータクレンジング、解析、さらに2022年4月から通年の登録が始まると、現状のスタッフではとても行えない業務量になる。そのため現在の2～3倍の人員確保が出来ないと、JSSR-DBの継続的な運用は難しいために理事会で十分な検討をして頂きたい（金村委員長）。
- ・JSSR-DB運用に必要な人員の体制は理事会でしっかりと検討して対応出来るようにする（松山理事長）。

次回会議

第6回JSSR-DB会議

2021年11月10日20時～